



2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月14日

上場会社名 株式会社MFS 上場取引所 東
 コード番号 196A URL http://www.mortgagefss.jp
 代表者(役職名) 代表取締役CEO (氏名) 中山田 明
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 平山 亮 (TEL) 03(5989)0575
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第1四半期の連結業績(2024年7月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	533	—	39	—	38	—	28	—
2024年6月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年6月期第1四半期 28百万円(—%) 2024年6月期第1四半期 1百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	3.19	—
2024年6月期第1四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2024年6月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2024年6月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2025年6月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社は、2024年3月22日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2024年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

3. 2025年6月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期第1四半期	2,406	2,090	86.8	230.37
2024年6月期	2,421	2,060	85.1	227.15

(参考) 自己資本 2025年6月期第1四半期 2,090百万円 2024年6月期 2,060百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年6月期	—	—	—	—	—
2025年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,397	26.8	69	—	59	—	37	5.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年6月期1Q	9,072,600株	2024年6月期	9,072,600株
② 期末自己株式数	2025年6月期1Q	—株	2024年6月期	—株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年6月期1Q	9,072,600株	2024年6月期1Q	6,372,600株

(注) 1. 当社は、2024年3月22日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2024年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期中平均株式数を算定しております。

2. 2024年6月期第1四半期の期中平均株式数には、A種優先株式、B種優先株式、C種優先株式、D種優先株式、E種優先株式、F種優先株式及びG種優先株式を普通株式と同等の株式として含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について

当社は、2024年11月14日 (木) に機関投資家・アナリスト・個人投資家向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料はTDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、賃上げや企業収益の堅調さを背景に、個人消費や設備投資が安定して推移し、回復基調にあります。しかし、物価上昇やエネルギー・原材料価格の高騰、日本銀行の金融政策の影響により、依然として先行きは不透明な状況です。不動産業界では、不動産価格の高騰や金融政策の変動が業界に与える影響を引き続き注視する必要があります。

また、当社の属する住宅ローン市場におきましては、日銀の金融政策により銀行各行の住宅ローン金利に変動があったことから、住宅ローン商品に対して注目が集まる状況となりました。

このような事業環境の中、当社グループは、売上収益の成長路線を描きつつ、主力事業であるモゲチェック事業とINVASE事業の両方で、広告宣伝及びシステム開発に先行投資を行っていました。その結果、モゲチェック事業では収益とコストの改善を実現し、売上収益の成長に貢献しております。INVASE事業におきましても、コスト削減により効率化を進めつつ、先行投資の効果が徐々に現れ始めており、中長期的な成長基盤を築いています。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

①モゲチェック事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、オンライン広告の強化やメディア露出の拡大に加え、金融機関との連携を強化しました。特に、モゲチェックの住宅ローン診断を受けたユーザーに対して限定優遇金利キャンペーンを展開し、集客拡大に注力しました。また、モゲチェックパートナー制度については、引き続き既存の住宅ローン事業者、保険代理店、不動産事業者などとの連携強化を通じて、潜在顧客層へのリーチを拡大し、集客数の増加に貢献しました。その結果、モゲチェックサービスの集客数が約1.9万件増加（前年同期比1.5%増）し、ユーザー登録数が4,684件増加（前年同期比26.7%増）となりました。

モゲチェックサービスの各種指標の推移

	前々第1四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2022年9月30日)	前第1四半期連結累計期間 (自2023年7月1日 至2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2024年9月30日)
集客数(件)	1,038,245	1,274,776	1,294,139
ユーザー登録数(件)	18,016	17,534	22,218

モゲチェック事業の当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は422,168千円、セグメント利益は133,261千円となっております。

②INVASE事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、引き続き金融機関および不動産業者とのパートナーシップを強化し、新たな顧客層の獲得を推進しました。特に、アプリサービスである「INVASE Pro」に2024年4月に追加された資産評価機能や、継続的な機能改善により、新規会員登録数が増加しました。マーケティング面では、セミナーの開催やSNS活用など、集客チャネルを多様化し、継続的な活動を通じて潜在顧客への認知度向上を図りました。子会社であるコンドミニウム・アセットマネジメント株式会社における不動産仲介契約件数の増加がセグメント全体の収益性を改善した一方で、金利動向の影響により不動産投資への関心がやや鈍化したことにより、バウチャーによる集客数は減少しています。その結果、INVASEサービスの会員登録数は累計約1.0万件増加し、前年同期比で30.0%の成長を示しております。また、物件の契約件数は21件増加し、前年同期比41.2%の増加となりました。

INVASEサービスの各種指標の推移

	前々第1四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2022年9月30日)	前第1四半期連結累計期間 (自2023年7月1日 至2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年7月1日 至2024年9月30日)
バウチャー集客数(件)	137,721	100,739	100,313
バウチャー申込数(件)	1,696	2,025	1,353
会員登録数累計(人)	20,855	33,929	44,105
物件の契約件数(件)	28	51	72

INVASE事業の当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は111,469千円、セグメント損失は25,988千円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ14,170千円減少し、2,406,860千円となりました。これは主に、売掛金が66,974千円増加したものの、現金及び預金が63,626千円減少、前払費用が3,328千円減少、無形固定資産が6,104千円減少、繰延税金資産が2,346千円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ43,350千円減少し、316,819千円となりました。これは主に、未払消費税等が5,683千円増加したものの、銀行借入れの返済により短期借入金が8,330千円減少、未払金が3,918千円減少、未払費用が27,261千円減少、未払法人税等が11,075千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ29,180千円増加し、2,090,040千円となりました。これは、利益剰余金が29,180千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年8月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,976,801	1,913,174
売掛金	246,874	313,849
前払費用	27,023	23,695
その他	9,963	6,346
貸倒引当金	△1,105	△1,422
流動資産合計	2,259,557	2,255,642
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,131	1,131
減価償却累計額	△508	△534
建物（純額）	622	597
工具、器具及び備品	22,991	23,552
減価償却累計額	△12,382	△13,553
工具、器具及び備品（純額）	10,608	9,998
有形固定資産合計	11,231	10,595
無形固定資産		
ソフトウェア	95,788	89,683
無形固定資産合計	95,788	89,683
投資その他の資産		
敷金及び保証金	23,271	22,641
繰延税金資産	25,479	23,132
投資その他の資産合計	48,750	45,774
固定資産合計	155,770	146,054
繰延資産		
株式交付費	5,702	5,163
繰延資産合計	5,702	5,163
資産合計	2,421,030	2,406,860

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	8,330	—
未払金	133,267	129,349
未払費用	72,148	44,887
未払法人税等	24,393	13,318
未払消費税等	14,685	20,368
預り金	5,970	7,845
契約負債	1,375	1,050
流動負債合計	260,170	216,819
固定負債		
長期借入金	100,000	100,000
固定負債合計	100,000	100,000
負債合計	360,170	316,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	596,800	596,800
資本剰余金	2,932,279	2,932,279
利益剰余金	△1,468,219	△1,439,038
株主資本合計	2,060,859	2,090,040
純資産合計	2,060,859	2,090,040
負債純資産合計	2,421,030	2,406,860

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上高	533,638
売上原価	79,637
売上総利益	454,000
販売費及び一般管理費	414,908
営業利益	39,092
営業外収益	
ポイント収入	209
受取利息	113
雑収入	227
その他	—
営業外収益合計	549
営業外費用	
支払利息	712
社債利息	—
株式交付費償却	538
営業外費用合計	1,250
経常利益	38,390
税金等調整前四半期純利益	38,390
法人税、住民税及び事業税	7,135
法人税等調整額	2,346
法人税等合計	9,482
四半期純利益	28,908
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,908

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	28,908
四半期包括利益	28,908
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	28,908
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	モグチェック 事業	INVASE事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	422,168	111,469	533,638	—	533,638
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	422,168	111,469	533,638	—	533,638
セグメント利益又は損失(△)	133,261	△ 25,988	107,273	△ 68,181	39,092

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、グループ共通のコーポレート業務等に係る一般管理費です。

セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産です。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	
減価償却費	7,301千円